

研究2 「特別支援教育と地域連携に関する研究」

1 趣旨

- (1) 特別支援教育関連事業の取組や小学校を会場とする LD 等指導法講座 ・ における授業公開や実践発表を通して、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導の在り方について研究する。
- (2) 養護学校を会場とする自閉症指導法講座 ・ や障害児教育地域連携講座における授業公開や実践発表を通して、蓄積している専門的な知識や技能を活かした養護学校の地域における特別支援教育に関するセンター的機能の充実について研究する。

2 研究の進め方

- (1) 研修講座の実施
小学校及び養護学校を会場に実施する研修講座で、公開授業や実践発表及び研究協議を行う。
- (2) 研修講座の内容検討
研修講座の準備の過程で、総合教育センターの担当者を加えて公開授業や実践発表及び研究協議に関わる検討を行う。
- (3) 資料の提供
研究協力員より、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導の在り方や養護学校が有する専門性やその活かし方に関する具体的・実践的資料の提供を求める。
- (4) 事後検討
必要に応じて公開授業や実践発表及び研究協議に関わる事後検討を行う。
- (5) 研究のまとめ
研修講座を通じた実践的研究のまとめを行う。

3 研究過程や成果の発信

- (1) 研修講座の様子や受講者の感想等を総合教育センターホームページ等で紹介し、受講できなかった教員に講座のエッセンスを伝える。
- (2) 研究成果を総合教育センターホームページ等で公開し、府内の特別支援教育の推進に資する。

4 研究協力員

宇治市立南小倉小学校	教諭	生駒	尚子
舞鶴市立福井小学校	教諭	岡本	恵理子
京都府立南山城養護学校	教諭	東	敦子
京都府立丹波養護学校	教諭	岩西	誠二
京都府立桃山養護学校	教諭	玉村	総枝

(センター担当者 主任研究主事兼指導主事 岡田 龍兵)

参考

平成 16 年度「特別支援教育推進体制モデル事業」より

< 盲・聾・養護学校におけるセンター的機能 >

推進地域内の小・中学校等への支援方策や連携協力の方法等についての概要

- ・ 地域の小・中学校の教員及び保護者に対する教育相談の実施、巡回相談の実施
- ・ 地域の小・中学校への教育機器・教材の貸出
- ・ 地域の小・中学校の校内研修等への講師の派遣
- ・ 地域の小・中学校の教員の養護学校への研修の受入（「1 日体験研修」）
- ・ 地域生活支援に関わる相談の実施、福祉機関との調整等